

狛江市市民活動支援センター こまえくぼ 1 2 3 4

平成 29 年度事業報告書

社会福祉法人 狛江市社会福祉協議会

目次

1 はじめに 総括	1
重点目標と取り組みとその成果	
2 指定管理業務の実施	
2-1 相談・マッチング	2
(1) 相談	
(2) マッチング	
2-2 情報の収集と発信	5
(1) ホームページや SNS の活用 (2) 情報紙「えくぼ」の発行	
(3) 広報誌「こまえがお」の創刊	
2-3 ネットワーク	7
(1) 団体交流事業 (2) 活動団体の情報交換会	
(3) 狛江市ボランティア連絡協議会への参加	
(4) 近隣及び東京都域の市民活動センター等との連携	
2-4 拠点機能	9
(1) フリースペースの活用 (2) 寄付文化の醸成 (3) 回収活動	
(4) 保険の加入受付	
2-5 交流・人材育成・研修	10
(1) わくわくサロン (2) 市民ニーズに基づく事業	
(3) 夏体験ボランティア (4) 体験学習協力	
3 施設管理	14
4 指定管理業務の実施にかかった経費の支出状況	15
5 その他指定者が指示する事項	16
5-1 施設の維持管理	
(1) 清掃業務 (2) 修繕 (3) 施設点検 (4) その他整備など	
5-2 サービスの維持向上	
(1) ご意見箱の設置 (2) 利用者アンケートの実施	

資料

- (1) 主な主催事業の報告書
- (2) 利用者アンケート集計結果

1 はじめに 総括

平成 29 年度重点目標

○ 支援センターのPR

支援センターの目的と役割を知ってもらうために、団体や地域のイベントや会議等に積極的に参加します。また、団体が支援センターをもっと活用できるようしくみをつくります。

○ より良い相談対応

日々の相談から得られたデータや市民活動・地域に関する情報を整理して、様々な相談対応に活かせるようにします。

○ 情報の収集と発信

ホームページや情報紙などを通して市民も支援センターを利用しやすい環境を作ります。また、市民活動団体が情報収集や発信ができる機会を作り支援します。

平成 29 年度は、支援センターを有効に活用していただくために、3 つの重点目標を念頭に置き事業に取り組みました。

○ 市民活動団体の活動や地域のイベント、会議等に参加をし、地域資源の情報収集とともに支援センターのPRを行いました。また、個人や団体の市民活動を広く市民に知ってもらうための支援として、登録団体・個人によるフリースペースでのイベントや展示を行い、3 月にはペイントイベントを実施して多くの方にご参加いただきました。イベントや展示への参加者の中には、支援センターを初めて訪れる人も多く、支援センターのPRにもつながりました。市民活動団体や個人には新たなチャレンジの場として、また、市民にとっては市民活動に触れるよい機会となりました。

○ 日々様々な相談が寄せられますが、対面での相談を基本とし、相談内容によってどのように解決していけばいいかを相談者と一緒に考えるように努めています。相談があった時に、別の来館者がその相談に対する解決の糸口になることもあり、支援センターを通して人がつながる一年でした。

新しく活動を始めたいという思いが形になり、3 つの団体が立ち上がることになったのは、大きな収穫となりました。

○ 情報紙「えがお」や広報誌「こまえがお」による情報発信を通して、新たな活動者と出会うなど、情報発信が情報収集につながりました。こまえくぼホームページを団体の情報発信の場としても活用してもらうために、個別対応や説明会の実施などにより、情報発信のツールとしてこまえくぼホームページを利用する団体も徐々に増え始めました。紙面による情報発信もホームページ等による情報発信もどちらも有効に活用できるように、今後も進めていきます。

運営委員会をはじめ、多くの市民活動団体の皆さんに支えられた一年でした。平成 30 年度はさらにつながりが広がるように、一つずつ事業を進めてまいります。

2 指定管理業務の実施

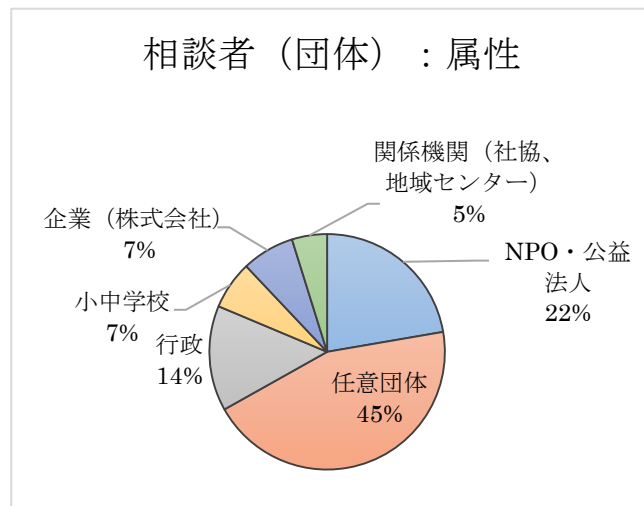
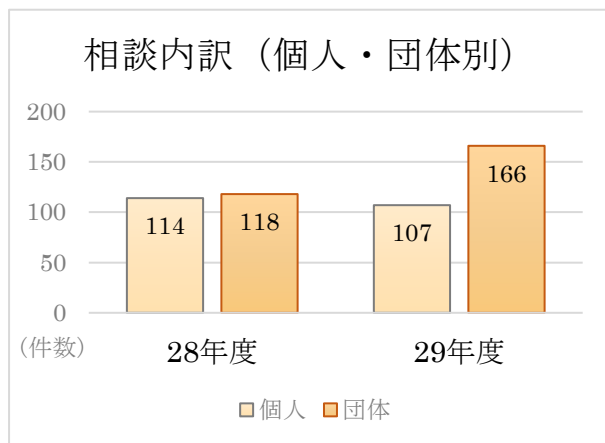
2-1 相談・マッチング

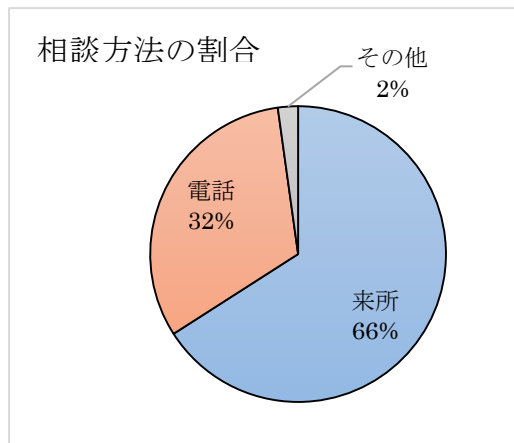
支援センターの根幹と位置付けられる相談事業では、ボランティアや市民活動に関する相談を、開館中、随時、無料で受付けています。

マッチングは団体と団体あるいは団体と個人とを結び、活動への参加促進や活発化を目指すものです。支援センターが受けた相談や、実施した事業の中から得たニーズ等に対し、支援センターが行う支援のうちの一つです。

(1) 相談

平成 29 年度の相談件数は、273 件でした。小さな相談から大きな相談まで様々ですが、昨年度よりも約 40 件の増となりました。昨年度は、個人からの相談と団体からの相談がほぼ同じ件数でしたが、平成 29 年度は団体からの相談が個人からの相談を約 2 割上回っています。これは、支援センターが、市民活動団体を支援する場所として団体に認知され、利用され始めていると考えられます。団体の属性をみると、法人格を持たない任意団体が半数近くを占めています。行政からの相談は昨年度よりも増えているものの、市民活動がより良い市民生活につながるように、中間支援組織としての行政とのかかわり方は今後の課題となります。

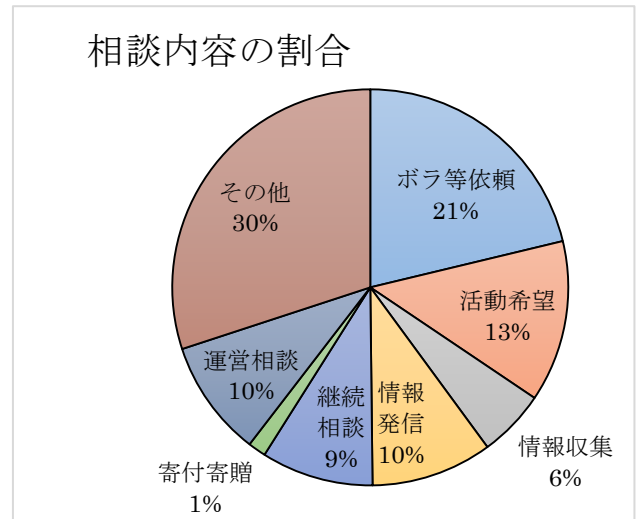




支援センターでは、相談内容を正確に把握し、より良い対応を行うために対面による相談を推奨しています。そのため、来所による相談が約 7 割で、昨年度とほぼ同じです。

相談内容では「ボランティアや講師などの依頼」と「活動希望」の問い合わせが多くありました。また、情報の発信については、団体からの相談として昨年度よりも増加しています。

29 年度は、相談の中から、市の講座の受講生のグループ化、言語や国に捉われず粕江のまちづくりに関わりたいという若者のグループ、障害者就労支援事業所の開設という 3 つの団体の立ち上げに関わりました。既にどの団体も活動を始めていますが、今後も活動を見守りつつ緩やかな支援を続けていきます。



○主な相談事例

相談内容	対応	結果
視覚障がい（弱視）のある子どもの登校に付き添ってくれる人がいないだろうか。	個別に探すことと並行して、情報紙「えくぼ」でボランティア募集の記事を載せることとした。	個人登録者への打診や情報紙「えくぼ」の募集記事を見ての問い合わせがあり、数名のボランティアによる登校のサポートができることとなった。
粕江市内に就労支援 B 型事業所を立ち上げたい。企画書にしたものを添削してほしい。また、市役所の所管課に一度足を運びたいと考えている。	企画書を確認、いくつか気になる点を指摘。市役所の所管課を訪問する際は、センター職員も同行することと日程調整を行うこととした。	担当部署である高齢障がい課に相談、話し合いの場を設定。以後、その都度相談対応をし、翌年度から事業所開設の運びとなった。
環境政策課より、キャンドルナイトのイベントコンサートをするので、演奏に参加してもらえる団体を紹介してほしい。	イベントの目的や詳細を聞き取り、一緒に考えていくことにした。	市内で活動している数か所のグループに声をかけ、最終的に 2 団体が出演することとなった。

(2) マッチング

行事やイベントが多くなる時期には、施設や任意団体からの依頼が多くなりますが、一つのマッチングが次のマッチングへつながったり、新しい活動が広がるきっかけになるなどの効果が見られました。

○主なマッチング事例

相談元	内容	マッチング先
NPO法人	パンづくりプログラムの相談	個人ボランティア
高齢者デイサービス	夏祭りでの演芸団体の依頼 手芸ボランティアの依頼	きんたの会、ハウオリウクレレメイツ リメイクの会 朗読ボランティアグループ
環境政策課	キャンドルナイトでの演奏団体の依頼	オカリナ ヴォーチェプリータ泊江、 ハウオリウクレレメイツ
暗闇レストラン 実行委員会	後援依頼	商工会
子育てサークル	活動プログラムの支援	コンティーゴ〜あなたといっしょ
任意団体	クリスマス会のサンタボラ イベントの会場確保 聴覚障がい関係団体のグループ化 について	個人ボランティア 有料老人ホーム 聴覚障害者会
有料老人ホーム	夏祭りやクリスマス会等での演奏 ボランティア依頼 囲碁ボランティア	視覚障がい者 音訳ボランティア 3 団体

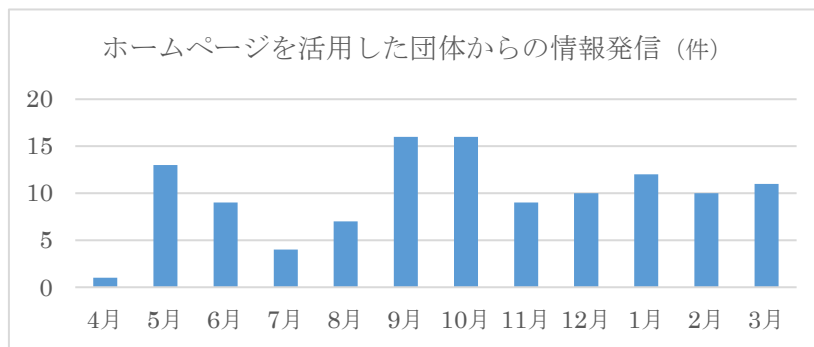
2-2 情報の収集と発信

市民活動に役立つ情報や、団体の活動情報、イベントや活動者募集のお知らせなど、支援センターに寄せられた団体の情報は、チラシをセンター内に掲示したり、ホームページで発信したりしました。また、各会議や市民活動団体の活動場所へ出かけていき、団体間のコーディネートやマッチングにもつながりました。広報誌「こまえがお」を見た方からの問い合わせや感想などを頂くこともあり、少しずつ広がりを感じます。ホームページと広報誌による情報の発信については、ボランティアからなる2つの部会があり、市民の協力のもと実施しました。

(1) ホームページや SNS の活用

市民活動支援センターのホームページは開設から1年半あまり経ちました。支援センターへの登録団体は115団体になり、うち107団体がホームページに登録して団体専用ページを利用しています。53団体から139件の情報が発信され、このうち15団体から54件の情報が団体自身によって発信されました。

また市民から構成されるホームページ部会の協力により、市民活動団体や市民向けに、ホームページの活用説明会を実施し、延26団体60名が参加しました。今後は、地域センターを利用している市民活動団体に支援センターのホームページを活用してもらうべく、説明会を実施するとともに、市民活動団体や市民の情報発信の悩みや意見をいただき、勉強会を開催していく予定です。



(2) 情報紙「えくぼ」の発行（11号～21号）

支援センターからのお知らせや、市民活動に関する情報（活動者募集や助成金情報など）を掲載した情報紙を年間11回、各号3,700部発行しました。市内個人宅への配布は約460件、市内の施設や店舗等は市内101ヶ所に配布しています。

印刷、発送準備、配布には、延べ約26名2団体にボランティアとして協力していただいています。

(3) 広報誌「こまえがお」の発行（2号～4号）

市民のボランティア9名からなる広報部会による広報誌「こまえがお」を発行しました。広報部会では、毎号のテーマや取材先、紙面構成までを協議・検討しています。

様々な切り口から市民活動を取り上げていて、顔の見える広報誌となっています。

各号30,000部を発行、新聞折り込みのほか、情報紙「えくぼ」の配布先への設置、市内小学校への配布をしました。



平成29年度7名からスタートした広報部会は、各号毎に全体の編集会議と担当別のミーティングを重ね、平均10か所ほどの取材を実施するなど精力的に活動しました。4号作成時には9名のメンバーになり、さらに多くの視点からの紙面づくりが行われています。

2-3 ネットワーク

(1) 団体交流事業 【詳細：資料 p.1～p.4】

地域課題や団体内の課題を共有し、ともに解決に向けて連携するためのきっかけづくりとして、団体交流サロンを開催しました。平成29年度は、昨年度の実績をもとに、交流と合わせて勉強会を実施しました。

資金難に悩む団体が多い中で、注目されてきているクラウドファンディングをテーマにした勉強会では、今後の動きに向けて、先行団体を講師に迎えて有益な情報を得ることができました。



■団体交流事業 「夜、寄る？よるえくぼ」

～「共感」を「支援」につなぐクラウドファンディングって何？～

日 時：平成30年1月27日（土） 午後6時半～8時

場 所：こまえくぼ1234 フリースペース

参加者：3団体4名

また、鉾江市内では、お茶のみ会や会食会など従来の居場所づくりに加え、ここ数年で「子ども食堂」に代表されるような子どもや貧困世帯への支援、あるいは交流等を目的に、食を提供する活動団体が増えています。ボランティアな活動において食品を取り扱う際、必要な衛生管理や、リスクへの備えについて学習する機会として、他地域でもあまり例のない保健所の食品衛生担当者による市民活動団体を対象とした講習会を実施することができました。

■団体交流事業 勉強会「ボランティアの安全・衛生」

日 時：平成30年3月5日（月） 午後2時～4時

場 所：こまえくぼ1234 フリースペース

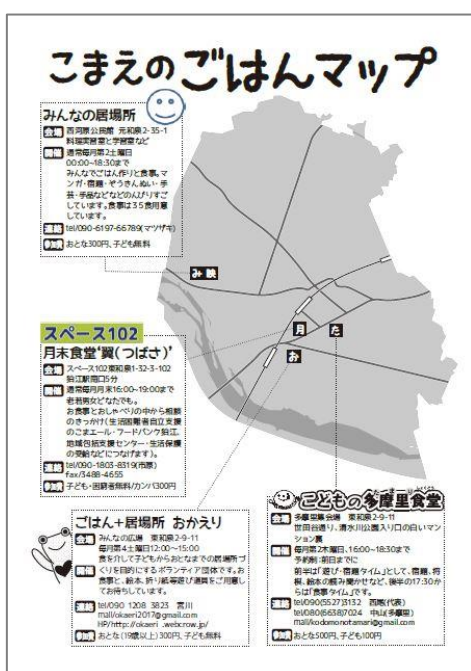
参加者：4団体12名



(2) 活動団体の情報交換会

平成 28 年度に子どもや貧困をテーマにした活動団体間の情報交換を行い、そこから食の提供を活動としている団体の中で情報共有をしていこうという機運が高まり、平成 29 年度に情報交換会を実施しました。団体間で共有された課題に対して、団体の協力体制のもと共通の夏休み期間のチラシを作成する取り組みに発展しました。

食を通した貧困世帯への支援や居場所づくりを行う団体の情報交換を主な目的としたネットワーク発足に向け、5 団体とともに準備会を開催。それぞれの団体がネットワークに期待することを共有し検討した結果、平成 30 年 4 月に「ごはんと居場所の連絡会 狛江」が発足することとなりました。



- 6 月 18 日 (日) 情報交換会
- 7 月 7 日 (金) チラシ作成に向けてのワーキング
- 11 月 26 日 (日) 情報交換会
(ネットワーク化に向けての準備会①)
- 1 月 21 日 (日) 情報交換会
(ネットワーク化に向けての準備会②)

(3) 狛江市ボランティア連絡協議会への参加

狛江市ボランティア連絡協議会の加盟団体として「第 37 回ボランティアのつどい」に参加しました。今年度は、あいとぴあセンターが改修工事のために使用できず、西河原公民館で開催となりました。

■ 第 37 回ボランティアのつどい

実施日：平成 29 年 10 月 1 日 (日) 午前 10 時～午後 3 時

会 場：西河原公民館

実行委員会：5 月 13 日、6 月 10 日、7 月 8 日、9 月 9 日、10 月 14 日

(4) 近隣及び東京都域の市民活動センター等との連携

① 近隣 5 市のボランティアセンター・市民活動支援センターとの連携

北多摩南部ブロック社協 5 市（府中市、調布市、三鷹市、小金井市、狛江市）のボランティア・市民活動支援センターでは、毎年、広域で取り組む必要のあるテーマについて共催事業を実施しています。

平成 29 年度は、東京都災害ボランティアセンターアクションプラン推進会議及び東京都社会福祉協議会北多摩南部ブロック職員連絡会との共催事業を行いました。

■北多摩南部ブロックボランティア・市民活動センター担当者会議

4 月 28 日、5 月 25 日、6 月 21 日、7 月 26 日、8 月 17 日、10 月 3 日

11 月 15 日、12 月 22 日、1 月 10 日、1 月 24 日、2 月 1 日、3 月 29 日

■共催事業

- ・東京都災害ボランティアセンターアクションプラン推進会議との共催で

東京都・調布市合同総合防災訓練の 1 コマとして「防災まちあるき」を実施

日 時：平成 29 年 9 月 3 日（日）

場 所：調布駅～多摩川児童公園付近

- ・北多摩南部ブロック職員連絡会との共催で合同研修会

「もしも勤務地社協が被災地になったら」を実施

日 時：平成 30 年 2 月 1 日（水）

場 所：調布市社会福祉協議会 総合福祉センター内 202～204 会議室

② 東京都域のセンターとの連携

■市民社会をつくるボランタリーフォーラム TOKYO2017 への参加

暮らしに関わるさまざまな社会課題に焦点をあて、それを共有し、市民にできることを考えていくためのイベントです。毎年実行委員会が分科会を企画し、実施されています。（実行委員会事務局：東京ボランティア・市民活動センター）

日 時：平成 30 年 2 月 9 日（金）～11 日（日）

場 所：飯田橋セントラルプラザ

実行委員会：6 月 22 日、7 月 5 日、8 月 3 日、8 月 18 日、9 月 20 日、10 月 3 日

11 月 13 日、1 月 11 日、1 月 16 日、1 月 23 日、3 月 23 日

■地域の居場所づくり研究委員会

東京ボランティア・市民活動センターで実施した「地域の居場所づくりに関するアンケート」をもとに、居場所の活性化について地域の居場所の創出や運営支援の一助にするための調査研究に協力しました。

委員会：12 月 8 日、2 月 15 日、3 月 22 日

2-4 拠点機能

(1) フリースペースの活用

登録団体・個人の優先利用として、フリースペースのイベント利用と展示利用をセンターとの共催として行いました。

- ・ イベント利用：20 回（個人 1、団体 14）
- ・ 展示利用：個人 2、団体 1

市民活動団体には新たなチャレンジの場として、また、様々な活動を広く市民に知ってもらい参加してもらうきっかけとなりました。



(2) 寄付文化の醸成

平成 28 年度に引き続き NPO 法人フードバンク狛江が行う食品寄贈窓口として協力しました。初めてセンターを訪れる人もいて、市民活動の情報を得る機会やセンターの P R もつながっています。

(3) 回収活動

使用済み切手や使用済みカード、インクカートリッジなどを回収し、ボランティア市民活動へ還元しています。

毎月 2 回（第 2・第 3 金曜日午後）、カフェスタイルで、おしゃべりしながら切手整理のボランティア活動をする時間を設けています。年間を通じて延べ約 125 名の参加となりました。年代も様々で、継続してくる人もたまに来る人も、自然に受け入れてくれる雰囲気の中で進められています。

(4) 保険の加入受付

ボランティア・市民活動を安心して行うための支援の一つにボランティア保険と行事保険があります。支援センターでは、これらの保険の取扱窓口として、ボランティア・市民活動を安心して行うための支援をしています。

保険料と補償内容によりプランが分かれています。加入状況は以下の通りです。

■ ボランティア保険 2,040 人

■ 行事保険 275 件(6,748 人)

2-5 交流・人材養成・研修

(1) わくわくサロン【詳細：資料 p. 5～p. 6】

働く世代でも出来る「土日にできるボランティア」を紹介し、働きながらも無理なくできるボランティアを知っていただき、活動を始めるきっかけとなることを目的に実施しました。

日 時：平成 30 年 3 月 11 日（日）午後 2 時～4 時

場 所：こまえくぼ 1 2 3 4 フリースペース

参加者：13 名（一般参加 7 名、ゲストスピーカー 6 名）

ゲストスピーカーとして市内で活動している NPO や任意の団体に話をしてもらうことで、参加者との交流もあり今後の活動へのきっかけになるなどの効果も見られました。

(2) 市民ニーズに基づく事業【詳細：資料 p. 7～p. 8】

粕江視覚障がい者の会との共催で福祉講座「視覚障がい者を知ろう」を実施、2 日間のプログラムを行いました。

視覚障がい者との交流やロールプレイを通して、日常場面で視覚障がい者をサポートできるような方法を学ぶとともに、講座を通して障がいに対する理解とボランティア・市民活動実践への一歩としてもらうことを目的に実施しました。

過去最多の参加人数となり、健常者だけでなく、車いすユーザーの方も参加していただき、車いすユーザーの方の視点での感想やご意見等を伺うことができました。

また、今後視覚障がい者の会のイベント参加を希望する方がいたことは大きな収穫となりました。

■第 9 回福祉講座

(1 日目) 6 月 5 日（月） 一般参加 19 名 スタッフ参加 7 名

(2 日目) 6 月 12 日（月） 一般参加 17 名 スタッフ参加 9 名



(3) 夏体験ボランティア【詳細：資料 p. 9～p. 10】

市民活動への参加の一つとして、ボランティア活動があります。様々な社会的問題への関心を深めたり、地域社会を構成する一市民として積極的に社会づくりに参加することの意義を学びます。活動を通して、多様な価値観や自らの生き方、共に生きていくことの意味を考える機会とすることを目的として実施いたしました。

参加者数については、昨年度比で 20%増でしたが、目標値の 81%の達成率となっています。一方、一人当たりの平均活動日数は年々微増し、活動後の感想文提出率も昨年度比 32%増となっており、体験活動をとおして得られる質的な効果は表れてきています。

(1) 受入団体交流会 参加団体数：16 団体（23 名）

1 回目 平成 29 年 5 月 25 日（木）14：00～16：00

2 回目 平成 29 年 5 月 27 日（土）18：00～20：00

(2) 参加者説明会 参加者数：23 名

1 回目 平成 29 年 6 月 25 日（日）10：00～11：00

2 回目 平成 29 年 7 月 8 日（土）14：00～15：00

3 回目 平成 29 年 7 月 9 日（日）14：00～15：00

(3) 申込み受付

平成 29 年 7 月 3 日（月）～8 月 6 日（日）

(4) プログラム参加 参加者数：81 名 延参加者数：232 名

平成 29 年 7 月 15 日（土）～9 月 10 日（日）

(5) 参加者の振り返り会 参加者数：17 名

平成 29 年 8 月 26 日（土）10：00～11：00

平成 29 年 8 月 27 日（日）10：00～11：00

平成 29 年 9 月 10 日（日）14：00～15：00

その他、個別振り返り



(4) 体験学習協力

幼稚園・保育園、小中学校からの体験学習の依頼に対して、出前講座や個人・市民活動団体へつなぐなど、体験学習協力を行いました。

①幼稚園・保育園等への支援

市内の12の幼稚園と認可保育園から車いす体験又は手話体験の依頼がありコーディネートをしています。平成29年度も、多くの園が体験を取り入れています。

車いす体験 10 件				手話体験（協力：手話サークル昼の部） 17 件			
5/15	めぐみの森保育園	1/12	子鹿幼稚園	5/18	ベネッセ狛江南保育園	12/6	駒井保育園
5/17	駒井保育園	1/29	多摩川保育園	6/13	三島保育園	12/13	多摩川保育園
5/25	駄倉保育園	2/21	東野川保育園みんなの家	6/15	駄倉保育園	1/24	駒井保育園
6/28	狛江保育園	3/2	藤塚保育園	6/24	こだま幼稚園	1/29	駄倉保育園
6/29	三島保育園			6/30	めぐみの森保育園	2/2	三島保育園
				9/20	ベネッセ狛江南保育園	2/8	駄倉保育園
				10/27	藤塚保育園	2/8	東野川保育園みんなの家
				11/16	駒井保育園	2/20	駄倉保育園
						3/13	ベネッセ狛江南保育園

②小中学校への支援

日付	学校名	学年	内容		協力
6/15	緑野小学校	4 年	総合的な学習 「だれにとっても住みよい町をめざして」	・視覚障がい者のお話 ・アイマスク体験	視覚障がい者(個人)
6/22	緑野小学校	4 年	総合的な学習 「だれにとっても住みよい町をめざして」	・車椅子利用者のお話 ・車椅子体験	身体障がい者(個人)
9/14	緑野小学校	4 年	総合的な学習 「だれにとっても住みよい町をめざして」	・高齢者についてのお話 ・インスタントシニア体験	高齢者デイサービス施設 職員
9/26 10/24	緑野小学校	4 年	総合的な学習 「だれにとっても住みよい町をめざして」	・高齢者施設の訪問と交流	特別養護老人ホーム 有料老人ホーム2か所
10/3	第二中学校	3 年	福祉、ボランティア精神、パラスポーツ理解 について	・障がいについて ・ボッチャについて	身体障がい者(個人 2 名)
10/10 10/13	第二中学校	3 年	福祉、ボランティア精神、パラスポーツ理解 について	・車いす体験 ・バリアフリーについて	体験学習部会メンバー6 名
10/17	第二中学校	3 年	福祉、ボランティア精神、パラスポーツ理解 について	・ボッチャ体験	ボッチャ・(ともしび)4 名 狛江市スポーツ推進委員 6 名
10/27	第一小学校	4 年	総合的な学習 「バリアフリーってなあに？」	・車椅子利用者のお話 ・車椅子体験	身体障がい者(個人)
11/1	第一小学校	4 年	総合的な学習 「バリアフリーってなあに？」	・手話体験	手話サークル昼の部

11/8	第一小学校	4 年	総合的な学習 「バリアフリーってなあに？」	・視覚障がい者のお話 ・アイマスク体験	視覚障がい者(個人)
11/22	和泉小学校	4 年	総合的な学習 「だれもがより良くかかわり合う」ということについて考える	・視覚障がい者のお話 ・点字体験	視覚障がい者(個人) 絵本点訳の会コスモス 4 名
12/11	第三小学校	4 年	総合的な学習 「障がいについて調べて体験しよう」	・視覚障がい者のお話 ・アイマスク体験	視覚障がい者(個人)
12/20	国本学園 中学部	1~3 年	福祉施設の訪問	・高齢者施設交流	有料老人ホーム
1/23	第一中学校	1 年	福祉体験学習 高齢者、障がい者、認知症の人々への理解を深める	・視覚障がいについて ・アイマスク体験	
3/9	和泉小学校	4 年	総合的な学習 「狛江市内の施設を考える」	・あいとびあセンター見学	福祉保健部健康推進課 社会福祉協議会

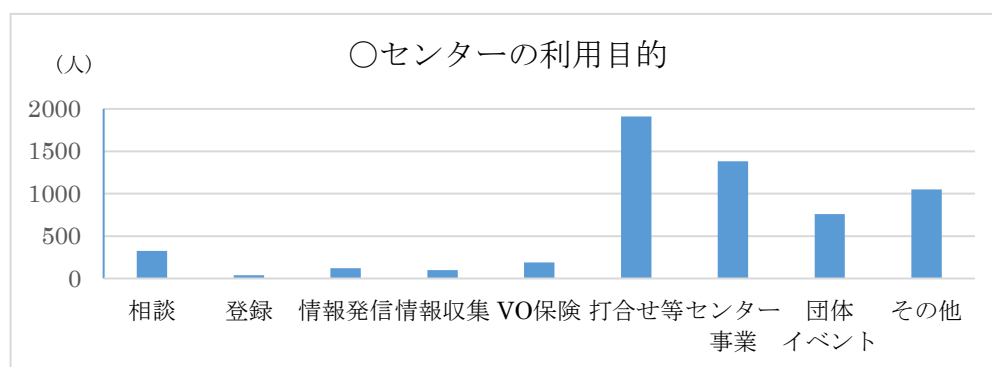
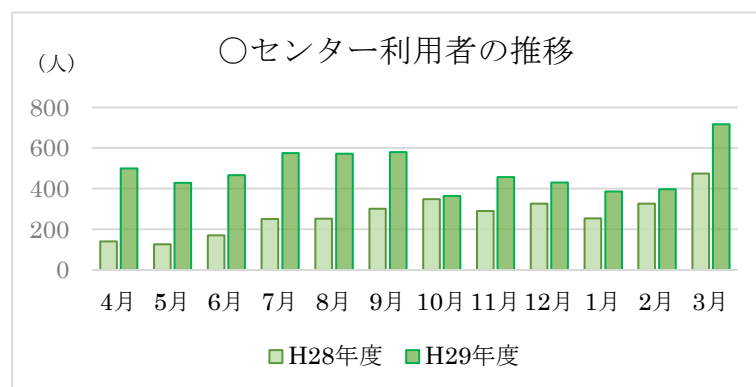
小学校は、市内 6 校のうち 4 校からの授業協力の依頼がありました。近年なかった中学校からの依頼もあり、1 回のみの体験ではなく、続けて複数回の体験を行うことで学習理解を深めることができました。また、初めて私立の中学部から依頼があり、有料老人ホームとの交流を行うことができ、体験学習の新たな受け入れ先の開拓にもつながりました。



3 施設管理

施設利用状況

平成 29 年度の利用者数は 5,879 人と昨年度よりも約 1.8 倍と増えています。10 月は市内でもイベントが多いため、一時的に減少していますが、年間を通して多くの方に利用していただいています。



利用状況をみると、約 3 割が打合せ等で支援センターを訪れています。貸室がないため予約制ではありませんが、54 団体、延べ 165 団体の利用がありました。

4 指定管理業務の収支状況

			平成 29 年度	平成 28 年度	増減
収 入	内 訳	狛江市受託金収入	31,283	30,500	783
		参加費収入	4	17	△ 13
		雑収入	70	113	△ 43
	収入合計		31,357	30,630	727
支 出	内 訳	人件費支出	24,725	24,637	88
		事業費等支出	4,961	4,441	520
	支出合計		29,686	29,078	608

5 その他指定者が指示する事項

5-1 施設の維持管理

(1) 清掃業務

- ・ 日常作業で実施(開所日)
- ・ 7月よりクリーンこまめに清掃業務委託(毎週金曜日)
- ・ 12/20 清掃業務(ジャパンビルホールディングス) 床清掃、ワックスがけ

(2) 修繕

2/27 フリースペース間仕切りの調整、ホール内配線工事及び電源設置

(3) 施設点検

- 3/6 床清掃(京王設備サービス)
- 3/20 空調機法令点検(ジャパンビルホールディングス)

(4) その他整備など

- 6月 点字プリンターの設置協力
- 3月 ウォールペイントの実施
協力：一般社団法人 日本空間デザイン協会、Kenko Coffee



5-2 サービスの維持向上

(1) ご意見箱の設置

来館者からの意見を聞き、改善できる点については以下のように対応しています。

- ・ 門が正面入り口(自動ドア)と離れていて入りにくい。正面入り口に直接入れるように階段があるとより入りやすくなると思う。⇒ 次年度に実施予定
- ・ 開館時間をもう少し延ばしてほしい。イベントなどの時だけでも、19 時くらいまで開いていれば会社勤めの人参加しやすくなると思う。⇒ 次年度以降の検討課題

(2) 利用者アンケートの実施

資料参照

資 料

- (1) 主な主催事業の事業報告書
- (2) 利用者アンケート集計結果

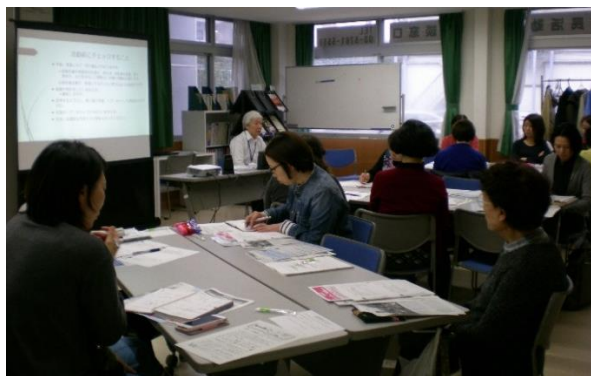
事業名	平成 29 年度第 1 回団体交流事業 夜、寄る？よるえくぼ 「共感」を「支援」につなぐクラウドファンディングって何？
目的	ボランティア・市民活動団体等を主な対象に、地域に貢献する活動を行う人同士が出会い、協働するためのきっかけづくりのとして実施する。市民活動団体や、地域活動を行う人をゲストスピーカーに、お話をきき、参加者同士が交流する機会として企画する。 今回は、支援センターで行う相談や専門相談会を通し、活動資金について課題を抱えていることが明らかになっている。支援者を募る新しい仕組みとして注目されているクラウドファンディングについて伺う。
日時	平成 30 年 1 月 27 日（土）午後 6 時 30 分～8 時
会場	こまえくぼ 1 2 3 4（狛江市市民活動支援センター） フリースペース
参加者	3 団体 4 名
実施概要	【テーマ】 「共感」を「支援」につなぐ クラウドファンディングって何？ 【ゲストスピーカー】 山本雅美さん（comaecolor コマエカラー） 【対象】 市民活動団体（法人格の有無を問わず）のスタッフやボランティア ボランティアグループの活動者 活動を支援したい個人や企業など 【参加費】 100 円（ソフトドリンク代として） 【内容】 （1）あいさつ・ゲストスピーカーの紹介 （2）ゲストスピーカーのお話し ・クラウドファンディングに取り組んだ事業の事例紹介 ・クラウドファンディングに取り組んでみて、わかったこと ・様々なクラウドファンディングと、それぞれの特徴 （3）参加者交流（30 分程度） ・ゲストスピーカーへの質疑を交えながら行った。 ・特に、活動につながっていない人への広報について話がされた。 参加団体のうち 2 団体のホームページを見ながら、具体的に広報の工夫について意見交換がされた。

成 果	・今回は、具体的な手立てというよりは、クラウドファンディングがどういったものであるか、事例を元に学習した。 ・クラウドファンディングを運営する会社等はいくつかあるが、それぞれについての特徴を知る機会となった。 ・ゲストスピーカーからの話題提供は、クラウドファンディングに限った特別な内容ではなく、日頃の活動の中でも大切なポイントが多くあった。 →・活動している人の顔がみえるように、普段どんなことをしているか、関心をもってもらえるような、気になる写真や文章の活用。 ・共感と呼ぶメッセージ＝一方的にならない発信 ・資金の使い道をオープンにする・支援者へのリターンとして、物だけでなくコト（体験機会の提供など）でのお返しするなど、支援後も関心をよせてもらう工夫。 ・SNS による発信だけでなく、知り合いや店舗に足を運ぶなど、身体を動かすことも大事。
課 題	・参加者が少なかったので、開催時間や曜日、周知方法について見直しが必要である。 ・クラウドファンディングに取り組むためには、ネットや SNS による広報など一定のスキルと知識が必要であることがわかった。一方で、市民活動団体の中にはそれらの発信方法が不得手である団体も少なくない。広報・周知についてなど少しテーマを砕いた学習会の設定が必要である。



事業名	平成 29 年度第 2 回団体交流事業 勉強会「ボランティアの安全・衛生」
目的	狛江市内では、お茶のみ会や会食会など従来の居場所づくりに加え、ここ数年で貧困世帯への支援や交流等を目的に、食を提供する活動団体が増えた。一方で、食中毒等の感染事例などがとりざたされ、安全面を懸念する声が高まっている。 ともに食を囲むことでうまれる団らんや交流は、地域の居場所づくりにとって大変効果的である。本勉強会では、ボランティアな活動において食品を取り扱う際、必要な衛生管理や、リスクへの備えについて学習する。参加者はもちろん活動者自身も安心して活動が継続できるよう、団体支援の一環として実施する。
日時	平成 30 年 3 月 5 日（月）午後 2 時～4 時
会場	こまえくぼ 1 2 3 4（狛江市市民活動支援センター） フリースペース
参加者	4 団体 12 名（すべて活動で食を提供する団体）
実施概要	【講師】 東京多摩府中保健所食品衛生担当 鈴木さん、酒井さん 当センターボランティア保険・行事保険担当職員 【対象】 ・ボランティア・市民活動団体、主に食の提供を活動内容に含む団体 ・上記のような団体の支援を行う行政や関連機関の担当職員 【参加費】 無料 【内容】 食品衛生についての学習とともに、参加団体同士の交流を図った。 （１）活動で食品を取り扱う際の衛生管理について 保健所の職員の方よりお話し DVD の上映 （２）ボランティアの安全管理・リスクへの備えについて 当センター職員より ・ボランティア保険について ・安全・衛生管理についての具体的事例の報告 （３）参加団体交流 下記のテーマで情報・意見交換を行った。 ・安全衛生について各団体で取り組んでいること ・安全衛生において各団体で課題と感じていること

成 果	・食を提供する団体や、茶話会を行なっている団体などの参加があった。これらの団体は、比較的新しかったり、日頃から相談が多いため、計画当初から特に参加してほしい団体であった。 ・講師の保健所職員によると、保健所の食品衛生担当者による市民活動団体を対象とした講習会の依頼ははじめて、他地域でもあまり例がないとのこと。食品事業者に比べて、市民活動団体の学習会機会は少なく、今回の企画が第一歩となった。 ・参加者のアンケートは「良かった」という回答が 9、「とても良かった」という回答が 4 であった。市民活動団体にとっては敷居の高い内容になる危惧もあったが、講師の「気持ちで行う活動が素晴らしい。せっかくの活動が損なわれないために、衛生管理には気をつけてほしい。」という言葉のとおり、活動のために必要な知識を持ち帰って貰うことができた。 ・センター職員の話には、安全衛生管理の具体的事例もあり、いくつかの団体からは、団体内で取り組めそうという感想を聞くことができた。 ・講習終了後に設けた情報交換では、各団体で気をつけていることその他、個人情報の取り扱いなど、別のテーマの安全についての意見交換もなされた。
課 題	・今回は比較的新しい団体の参加のみとなった。社協の行う小地域福祉活動や、高齢者の会食会など対象として考えられる団体は他にも多くあるので、それらの団体へも参加の呼びかけもしていくようにする。 ・企画にあたっては、いくつかの食を取り扱う団体へのヒアリングを行なった。ネットワーク化の進む分野の団体などは、企画から関わりを求めたり、共催というかたちでの実施を検討も必要である。
添付資料	・アンケート集計結果 ・当日受付簿 ・当日資料 ・チラシ



事業名	わくわくサロン 2017 「働く世代向け『土日のできるボランティアってあるの?』」
目的	働く世代に地域福祉に関心を持って貰うため、平成 30 年度より「住むまちで、月に一度はボランティア」を推進するプロジェクトを展開する予定である。非公式ではあるが、11 月に働く世代のボランティアに関する現況を調査した結果から、現在ボランティアをしていない人の半数が、「住むまちで、月に一度くらいはボランティアをしたいと思う」と回答していた。 今回のわくわくサロンでは、働く世代でも出来る「土日のできるボランティア」を紹介し、働きながらも無理なく出来るボランティアを知っていただき、活動を始めていただくことを目的とする。
日時	平成 30 年 3 月 11 日（日）午後 2 時～午後 4 時
会場	狛江市市民活動支援センター（こまえくぼ）
参加者	一般参加 7 名（20 代 2 名、30 代 1 名、40 代 1 名、50 代 3 名） 登壇者参加 6 名
実施概要	- 市民活動支援センター（こまえくぼ 1 2 3 4）の説明 ボランティアについて - 土日のできるボランティアについての紹介（6 団体） ・狛江水辺の楽校（竹本久志 氏） ・(株)ニチイ学館ニチイケアセンターいずみこまえ（松本明子 氏） ・NPO 法人 狛江こども食堂（市川ゆきえ 氏） ・NPO 法人 遊育会（岡本千栄子 氏） ・NPO 法人 ハンディキャブこまえ（清水信之 氏） ・NPO 法人 福祉ネット「ナナの家」（皆河梓 氏） - 交流会
成果	働く世代を対象としているため、夜間に狛江市に戻ってくる市民にチラシを配布した。狛江駅周辺で、4 日間、主に 18:00～19:00（合計 4 時間）に配布し、80 名の方に受け取ってもらうことができた。アンケートの回答結果より、今回のイベント参加者の中で 2 名の方が、このチラシによる参加であることが分かった。一般にチラシの反応率は、良くて 0.5%と言われているが、駅頭チラシ配布での 2.5%の反応率は高いと言え、周知方法としては効果があったと言える。また、アンケート結果から、働く世代でも、地域に関心のある方々の多くは、「広報こまえ」により情報収集をしていることも分かった。 イベントの内容としては、登壇者の熱のこもったお話しの効果もあり、アンケートの「やってみたいボランティア」の回答として、登壇してい

	ただいた団体の名前が多く書かれていた。更に、登壇者にとっては、団体の夢を語ることもでき、参加者から多くの応援の言葉をいただけたことで、今後の活動の励みになったと思われる。 交流会では、働く世代がボランティアをすることのメリットとして、地域社会の課題を直接感じることでできたり、様々な立場の人と触れあうことで視野が広がり、新しいイメージや視点で仕事に取り組むことができることを伝えさせていただいた。アンケートの「ご意見・ご感想」欄には、ご理解いただけたという感想もあった。また、参加者と登壇者が直接連絡先の交換をしている場面や、更に、週末に実施されるイベントのボランティア申し込みをしている参加者もいた。 全体をとおして、今回の目的は概ね達成されたと考える。
課 題	昨年同様、参加した方からは、「良かった」との感想をいただいているが、参加者が少ない。今までのやり方では、対象となる参加者を集めることが難しいため、新しい実施方法についての検討が必要である。



事業名	第9回 福祉講座「視覚障がい者を知ろう」 (主催：狛江視覚障害者の会 共催：市民活動支援センター)
目的	(1) 街角などで、気軽に声をかけられるようになってもらう。 (2) 視覚障がい者が見えないがゆえに困っていることについて知ってもらう。 (3) 講座終了後に、ボランティア活動に繋げる。
日時	(1日目) 6月5日(月) 午前10時～12時 (2日目) 6月12日(月) 午前10時～12時
会場	あいとぴあセンター 3階 ボランティア室
参加者	(1日目) 一般参加 19名 スタッフ参加 7名 合計 26名 (2日目) 一般参加 17名 スタッフ参加 9名 合計 26名
実施概要	(1日目) ・福祉講座を始めた理由についての説明 ・狛江視覚障害者の会についての説明 ・視覚障がいについての概要 ・視覚障がい者への声掛けロールプレイ ・視覚障がいの方々との交流会 (2日目) ・アイマスクと誘導体験 - コース：あいとぴあセンター3階ボランティア室出発 →エレベーター、階段を使い1階へ移動 →あいとぴあセンターから外に出る →右折しあいとぴあセンター前信号まで歩く →信号を渡る →左折しバス停まで歩く →バス停でバス乗車時の支援 →次の信号まで歩く →信号を渡る →左折し西河原公民館まで歩く →スロープ、階段を使って西河原公民館に入る →1階の自動販売機で、飲み物購入時の支援 →西河原公民館を出る →右折し、あいとぴあセンターまで歩く →あいとぴあセンター1階から3階へ、エレベーター・階段を使い移動 →ボランティア室到着 ・便利グッズの紹介 ・視覚障がいの方との交流会

成 果	・今までの福祉講座の中で、最多参加者数であった。 ・健常者だけでなく、車いすユーザーの方も参加していただき、車いすユーザーの方の視点での感想やご意見等を伺えた。また、車いすの方もアイマスクや誘導体験をしていただくことができ、車いすの方もガイドが出来る事を知ることができた。 ・今後、視覚障害者の会のイベント参加を希望し連絡先を教えて下さった方が6名いた。 ・前回の福祉講座から視覚障がい者への声掛けロールプレイを実施しているが、今回も評判が良かった。 ・前回の講座でも、盲導犬についての質問があった。盲導犬について関心を持っている市民が少なくないことが分かった。
課 題	・参加者多数のため、アイマスクや誘導体験に予想より長く時間がかかり、交流会の時間が短くなってしまった。参加者多数の場合にも対応できる講座内容について検討する必要がある。



事業名	夏！体験ボランティア 2017	
目 的	1 ボランティアの活動を通して、様々な社会的問題への関心を深め、地域社会を構成する一市民として積極的に社会づくりに参加することの意義を学ぶ。 2 ボランティア活動を通じた様々な人々との出会いの中から、多様な価値観や自らの生き方、共に生きていくことの意味を考える機会とする。	
日 時	(1) 受入団体交流会 1 回目 平成 29 年 5 月 25 日 (木) 14 : 00～16 : 00 2 回目 平成 29 年 5 月 27 日 (土) 18 : 00～20 : 00 (2) 参加者説明会 1 回目 平成 29 年 6 月 25 日 (日) 10 : 00～11 : 00 2 回目 平成 29 年 7 月 8 日 (土) 14 : 00～15 : 00 3 回目 平成 29 年 7 月 9 日 (日) 14 : 00～15 : 00 (3) 申込み受付 平成 29 年 7 月 3 日 (月) ～8 月 6 日 (日) (4) プログラム参加 平成 29 年 7 月 15 日 (土) ～9 月 10 日 (日) (5) 参加者の振り返り会 平成 29 年 8 月 26 日 (土) 10 : 00～11 : 00 平成 29 年 8 月 27 日 (日) 10 : 00～11 : 00 平成 29 年 9 月 10 日 (日) 14 : 00～15 : 00 その他、個別振り返り	
会 場	交流会・説明会・申込受付・振り返り会は、市民活動支援センター プログラム参加は、各活動場所	
参加者	(1) 受入団体交流会参加団体数 16 団体 (23 名) (2) 参加者事前説明会参加者数 23 名 (3) 参加者の振り返り会参加者数 17 名 (4) プログラム参加者数 81 名 (延 232 名)	

実施概要	受け入れ団体数	プログラム数	参加者数
	高齢	6	29
	障がい	24	47
	児童	15	107
	国際協力	1	9
	環境	1	8
	その他	5	32
40 団体中 10 団体は参加者が 0 であった。			
成 果	社会人を含めた夏ボラ 2017 への参加者数は、昨年比で 20%増となっているが、目標値（100 名）で考えると 81%の達成率となった。参加者一人あたりの平均活動日数は、一昨年は 2.26 日、昨年は 2.66 日、今年が 2.86 日と微増しており、感想文の提出率は、昨年は 25%であったが、今年は 33%と上昇している。 今年の特徴として、障がい分野への参加が昨年の 4.7 倍となった。学校での「オリンピック・パラリンピック教育」の影響が出ているのではないかと考えられる。 今年から、夏ボラに参加し、感想文を提出し、振り返り会にも出席した参加者には、修了証書を渡すことにした。19 名の方に修了証書をお渡しすることができた。証書の番号は通し番号とし、来年度は 20 番から付けられることになる。今年は、全参加者の 23%が夏体験ボランティアの全ての過程を終了することができた。 夏ボラの学生参加者の半数以上は夏休みの宿題となっている。参加のきっかけは様々だが、全参加者の一人あたりの参加日数の増加や、感想文の提出率の上昇、感想文の内容からもボランティア活動後の充実度は年々高まっていると考える。		
課 題	東京都教育委員会では、「東京都オリンピック・パラリンピック教育」の中で、ボランティアマインドの育成を重点的に育成すべき資質の一つとしている。ボランティアマインドの醸成のためには、夏ボラの期間だけでなく、年間を通して活動できるような、家庭や地域も巻き込んだボランティアプログラムの開発を検討する必要がある。		

こまえくぼ1234の利用に関するアンケート集計表（H29年度）

1 発送数		161		
2 回収数		49		
3 率		30.4%		
設問項目		件数	率(設問)	備考
設問 1-1	個人利用である場合には個人に、団体利用である場合には団体に○をしてください。団体の場合には団体名と主な活動日時について教えてください	47		解散(休止) 2 団体
① 個人		0		
② 団体		47		
曜日 と 時 間 帯	① 月曜日	12	25.5%	
	時間	午 前	12	25.5%
		午 後	6	12.8%
		夜 間	1	2.1%
		不 定 期	0	0.0%
	② 火曜日		8	17.0%
	時間	午 前	8	17.0%
		午 後	5	10.6%
		夜 間	0	0.0%
		不 定 期	0	0.0%
	③ 水曜日		11	23.4%
	時間	午 前	10	21.3%
		午 後	7	14.9%
		夜 間	0	0.0%
		不 定 期	0	0.0%
	④ 木曜日		12	25.5%
	時間	午 前	9	19.1%
		午 後	8	17.0%
		夜 間	2	4.3%
		不 定 期	0	0.0%
	⑤ 金曜日		5	10.6%
	時間	午 前	5	10.6%
		午 後	3	6.4%
		夜 間	0	0.0%
		不 定 期	0	0.0%
	⑥ 土曜日		10	21.3%
	時間	午 前	4	8.5%
		午 後	8	17.0%
		夜 間	1	2.1%
		不 定 期	1	2.1%
	⑦ 日曜日		6	12.8%
	時間	午 前	5	10.6%
		午 後	4	8.5%
		夜 間	1	2.1%
		不 定 期	0	0.0%
	⑧ 不定期		18	38.3%
	時間	午 前	2	4.3%
		午 後	0	0.0%
		夜 間	1	2.1%
		不 定 期	15	31.9%

設問項目		件数	率(設問)	備考
設問 1-2	市民活動支援センターでは登録制度をとっています。登録状況について教えてください。	47		
	① 登録をしている	33	70.2%	
	② 登録をしていない	6	12.8%	
	③ 登録をしているかどうか不明	8	17.0%	
	▲ 記載無し	0	0.0%	
設問 2-1	市民活動支援センターを利用したことがありますか。	47		
	① 平成29年4月1日以降から利用をはじめた→2-2へ	13	27.7%	
	② 平成29年4月1日以前から利用している→2-3へ	17	36.2%	
	③ 利用していない→5-1へ	17	36.2%	
	▲ 記載無し	0	0.0%	
設問 2-2	市民活動支援センターについてどのようにして知りましたか。 (複数回答)	13	27.7%	
	① 市広報	3	23.1%	
	② 知人からの紹介	5	38.5%	
	③ チラシやパンフレット	3	23.1%	
	④ 通りがかり	2	15.4%	
	⑤ 情報紙「えくぼ」	1	7.7%	
	⑥ 広報誌「こまえがお」	0	0.0%	
	⑦ こまえくぼ1234のホームページ	2	15.4%	
	⑧ 市役所	2	15.4%	
	⑨ 社会福祉協議会	1	7.7%	
	⑩ その他()	2	15.4%	
	・運営委員会の委員からの紹介	1		
	・こまえくぼの職員から紹介	1		
	▲ 記載無し	0	0.0%	
設問 2-3	どのような目的で利用しましたか。 (利用したことのある項目すべてに○)	30	63.8%	
	① 相談	12	40.0%	
	② フリースペースの利用	18	60.0%	
	③ イベント等への参加	11	36.7%	
	④ 他団体との交流	7	23.3%	
	⑤ 情報発信	11	36.7%	
	⑥ 情報収集	10	33.3%	
	⑦ その他(具体的に:	4	13.3%	
	・行事保険の申込	1		
	・備品の借用	1		
	・ボランティアの募集	1		
	・常設のフードドライブの受取	1		
	▲ 記載無し	0	0.0%	
設問 2-4	どのくらいの頻度で利用していますか。	30	63.8%	
	① 週2回以上	1	3.3%	
	② 週1回程度	0	0.0%	
	③ 月1～3回程度	4	13.3%	
	④ これまでに数回	21	70.0%	
	⑤ その他()	2	6.7%	
	・HP立上げ講習会	1		
	・必要な時だけ	1		
	▲ 記載無し	2	6.7%	

設問項目		件数	率(設問)	備考
設問 2-5	利用することでどのような変化がありましたか。(複数)	30	63.8%	
	① 活動がしやすくなった(具体的に:)	12	40.0%	
	・取次場所として協力していただいている。	1		
	・会員内の意識が高まった。	1		
	・活動場所として利用できている。	1		
	・場所が便利である。	2		
	・他団体との接点、参加者が増えた。	1		
	・PCやWifiが利用できる。	1		
	・活動場所として利用し易い。	2		
	・イベント等の紹介してもらえた。	1		
	・連絡場所として協力してもらえる。	0		
	・運営全般の指導が得られた。	1		
	・定期的な利用が出来た。(共催事業)	1		
	・予約無しで利用できる。	1		
	・無料で利用できる。	1		
	・市民と繋がる寄贈が可能になった。	1		
	・記載無し	1		
	② 活動に広がりが出た(具体的に:)	8	26.7%	
	・広報活動	1		
	・ボランティアの紹介が得られる。	1		
	・HPの活用	0		
	・情報や連絡がし易くなった。	1		
	・会議等で多人数で活動ができるようになった。	1		
	・老人施設での活動ができるようになった。	1		
	・記載無し	1		
	③ 情報発信が活発になった	4	13.3%	
	④ 情報収集がしやすくなった	9	30.0%	
	⑤ 他の団体と交流を持てた	9	30.0%	
	⑥ 特に変わらない	6	20.0%	
	⑦ その他()	1	3.3%	
	・フードドライブの活動拠点として先例となった。また、他団体の活動紹介も得られた。			
	▲ 記載無し	0	0.0%	
設問 2-6	職員の対応について満足度をお聞かせください。	30	63.8%	
◎ あいさつ・言葉づかい・応対時の印象(感じの良さなど)		30		
	① 満足	26	86.7%	
	② やや満足	2	6.7%	
	③ どちらでもない	0	0.0%	
	④ やや不満	0	0.0%	
	⑤ 不満	0	0.0%	
	▲ 記述無し	2	6.7%	
◎ 相談や要望に対する対応		30		
	① 満足	18	60.0%	
	② やや満足	5	16.7%	
	③ どちらでもない	0	0.0%	
	④ やや不満	2	6.7%	
	⑤ 不満	0	0.0%	
	▲ 記載無し	5	16.7%	

設問項目		件数	率(設問)	備考
設問 2-7	活動する中で現在課題と思うことはありますか。(複数回答可)	30	63.8%	
	① 活動メンバーが固定化している	13	43.3%	
	② 会員が高齢化している	11	36.7%	
	③ イベント等をしても人が集まらない	6	20.0%	
	④ 活動する場所がない	1	3.3%	
	⑤ 活動を知ってもらう機会が少ない	5	16.7%	
	⑥ 同じ分野の活動団体と交流・情報交換の機会が少ない	7	23.3%	
	⑦ 異なる分野の活動団体と交流・情報交換の機会が少ない	7	23.3%	
	⑧ 必要な情報(補助金、講師の情報、講座の開催情報等)が手に入らない	0	0.0%	
	⑨ イベント等のやり方がわからない	0	0.0%	
	⑩ 特になし	7	23.3%	
	⑪ その他()	5	16.7%	
	・支援センターが社会資源をもっと活用する	1		
	・財政的に運営が厳しい	1		
	・相談に積極的な対応が見られない	1		
	・ボランティアのモチベーションの高め方、活動資金の確保等(NPOとしての課題)	1		
	・役員のなり手がいない	1		
	▲ 記載無し	0	0.0%	
設問 2-8	今後、充実してほしい事業や機能についてお聞かせください。(複数)	30	63.8%	
	① 相談機能	7	23.3%	
	② 団体の会員やボランティアの募集、紹介	12	40.0%	
	③ 協働のコーディネート(団体同士、団体と個人、団体と行政など)	13	43.3%	
	④ 交流や情報交換の場づくり	11	36.7%	
	⑤ 情報提供	5	16.7%	
	⑥ 講座や研修会の実施	6	20.0%	
	⑦ 特になし	1	3.3%	
	⑧ その他()	4	13.3%	
	・HPの団体検索機能は団体名とジャンル毎の一覧表があると便利(現状は検索しづらい)	1		
	・音出しのできるスペースがあると良い(楽器の音が出せる部屋が希望)	1		
	・NPOセンターとしての機能が不十分	1		
	・フリースペースの予約制を希望	1		
	▲ 記載無し	1	3.3%	
設問 3-1	市民活動支援センターのフリースペースを利用したことがありますか。	30	63.8%	
	① ある→3-2へ	22	73.4%	
	② ない→3-5へ	7	23.3%	
	▲ 記載無し	1	3.3%	
設問 3-2	利用の目的は何ですか。(複数)	23	48.9%	
	① 会議や打ち合わせ	20	87.0%	
	② 資料の閲覧	2	8.7%	
	③ パソコンの利用	2	8.7%	
	④ コピー機の利用	2	8.7%	
	⑤ 支援センターとの共催事業(イベントや展示など)	6	26.1%	
	⑥ その他()	2	8.7%	
	・折り紙クラブでの活動	1		
	・活動に伴う作業で利用	1		
	▲ 記載無し	1	4.3%	

設問項目		件数	率(設問)	備考
設問 3-3	3-2で選んだ項目について、今後も利用したいと思いますか。	23	48.9%	
理由	① 利用したいと思う	22	95.7%	
	② 利用したいと思わない	0	0.0%	
	③ どちらでもない	0	0.0%	
	・狛江市関連の事業体であること。	1		
	・便利で機材が揃っている。(ネット含む)	4		
	・立地条件が良い(駅から近く便利)	5		
	・落ち着いて会議が出来る(ファミレスの時は落ち着かなかった)	2		
	・予約無しで利用できる	3		
	・柔軟な利用が出来ること	1		
	・使用料金が無料であること	3		
	・スタッフの協力が得られる(職員の協力)	2		
	・情報が得やすい	1		
	・金銭の取扱等他ではできにくい作業が出来る	1		
	・共催事業で展示をしたい	1		
	・部屋の大きさが活動にマッチしている。	2		
	・他の利用者とバッティングして利用できないことが生じているが「えくぼ」との繋がりを持つために継続利用	1		
	・記載無し(理由)	6		
	▲ 記載無し	1	4.3%	
設問 3-4	3-2で選んだ項目について、改善してほしいことはありますか。ある場合には、具体的に教えてください。	23	48.9%	
理由	① 改善してほしいことはない	9	39.1%	
	② 改善してほしいことがある	12	52.2%	
	・フリースペースでの軽食等を可能にしてもらいたい (時間帯指定)	1		
	・フリースペースにPC用プリンターを設置してもらいたい	1		
	・休館日を公民館とずらしてもらいたい	2		
	・印刷機を設置してもらいたい	2		
	・日曜日の開館時間を早めてもらいたい	1		
	・団体支援としてコピー機を利用させてもらいたい	1		
	・他団体と個人との交流を進め、コーディネートしてもらいたい	1		
	・夜間の開館を希望	3		
	・フリースペースの予約制を希望	2		
	・備品の使用料を下げてもらいたい	1		
	・小スペースが欲しい(パーティションで仕切り)	1		
	・フリースペースでの飲み物は許可してもらいたい	1		
	▲ 記載無し	2	8.7%	
設問 3-5	開館時間は午前10時から午後5時までですが、使いやすさはいかがですか。(選んだ理由もご記入下さい。)	30	63.8%	
理由	① 満足	9	30.0%	
	② やや満足	3	10.0%	
	③ どちらでもない	7	23.3%	
	④ やや不満	8	26.7%	
	⑤ 不満	2	6.7%	
	・イベント(共催)等で利用しやすい	1		
	・ウィークデーの午後5時以降の利用希望	1		
	・ウィークデーの夕方の閉館時間の延長を希望(個人意見)	1		
	・夜間の開館をしてもらいたい(夜間会館:利用しやすい)	8		
	・開館を早めてもらいたい(9時又は9時30分等)	3		
	・情報交換の場が無い(遠い)	1		
	・開館時間をもう少し長くしてもらいたい	3		
	・活動時間が開館時間に合っている	2		
	・時間等柔軟な対応をしていただいている	1		
	・記載無し	9		
	▲ 記載無し	1	3.3%	

設問項目		件数	率(設問)	備考
設問 3-6	休館日は火曜日、祝日及び年末年始(12月29日から1月3日まで)ですが、使いやすさはいかがですか。	30	63.8%	
	① 満足	16	53.3%	
	② やや満足	3	10.0%	
	③ どちらでもない(理由無し)	6	20.0%	
	④ やや不満	3	10.0%	
	⑤ 不満	2	6.7%	
	理由	・公民館と同じ日に休館はこまる(他の施設含む)	4	
		・祝日を閉館してもらいたい	1	
		・日曜日に寄贈受付ができることがありがたい	1	
		・変則の休みは大変である	1	
		・記載無し	21	
		▲ 記載無し	0	0.0%
設問 4-1	市民活動支援センターの貸出備品の利用について教えてください。(利用したことのある備品すべてに○)	30	63.8%	
	① プロジェクター	7	23.3%	
	② ポータブルアンプ・マイク	6	20.0%	
	③ DVDプレイヤー	3	10.0%	
	④ スクリーン	2	6.7%	
	⑤ その他()	2	6.7%	
		・ホワイトボード(備付)	1	
		・TVモニター	1	
		▲ 記載無し	20	66.7%
設問 4-2	今後、団体活動において必要とされる備品等がありますか。ある場合は具体的に教えてください。	30	63.8%	
	① 必要とする備品はない	20	66.6%	
	② 必要とする備品がある	5	16.7%	
		・印刷機を設置してもらいたい	3	
		・プロジェクター	1	
		・スクリーン	1	
		・ファイル等を置きっぱなし(ロッカー)を希望	1	
		▲ 記載無し	5	16.7%
設問 5-1	利用したことがない理由があれば教えてください。(47)	47	100.0%	
	① 活動時間と開館時間が合わない	0	0.0%	
	② 活動日と休館日が重なっている	0	0.0%	
	③ 他の施設(公民館や地域センター等)を利用している	16	34.0%	
	④ その他(具体的に:)	6	12.8%	
		・英会話教室に行っているので、利用の必要がない	2	
		・主たる活動場所が他の施設(公民館、地域CC)であるため	1	
		・主たる活動場所が他の施設(学校や保育園等)であるため	1	
		・主たる活動場所が多摩川(活動場所が異なる)	1	
		・主たる活動場所が公園管理(VO保険は活用)	1	
		・自前の施設を持っている	1	
		・運動に適した場所でないため	1	
		・主たる活動場所が他の施設(あいとぴあ)であるため	1	
		▲ 記載無し	25	53.2%

設問項目		件数	率(設問)	備考
設問 5-2	支援センターの利用についてご意見等がありましたらお書き下さい (47)	47	100.0%	
	① 会議室等の部屋の提供を希望する(予約)	1		
	② 若い方の入会が無い	1		
	③ ツイッターがあると良い(情報発信)	1		
	④ イベント時女性トイレが足りない	1		
	⑤ 公民館利用者等へ積極的なPR	1		
	⑥ 無料のボランティア一覧表があると良い	1		
	⑦ 情報の窓口として活用している	1		
	⑧ 活動は中央公民館を中心行っている	1		
	⑨ ボランティアの一覧表があればいいと思います	1		
	⑩ 職員が親切で利用しやすい	1		
	⑪ ボランティア保険を活用しています	1		
	⑫ まだまだ市民活動支援センターを知らない人がいます	3		
	⑬ 「こまえがお」は皆に読まれている(素敵である)	3		
	⑭ 駅からの案内板等の設置してもらいたい	1		
	⑮ センター内(FS)で飲食をできるようにしてもらいたい	1		
	⑯ 市民や利用団体の目線で考えたセンター機能を希望する	1		
	⑰ センター自主性が無い(センター長の民間登用・運営委員会の権限を高める)	1		
	⑱ フリースペース(FS)が予約できると良いです	3		
	⑲ 感謝の言葉(お礼、激励等)	3		
	⑳ 団体登録を希望するがどうしたよいか分からない	1		
	㉑ 職員の対応が良い	1		
	㉒ 活動に協力依頼をお願いしたい	1		
	㉓ 登録方法や利用方法を具体的なPRが必要です	1		
	㉔ のぼり旗の色があせて目立たない	1		
	㉕ イベント等の情報が団体に入らない	1		
	▲ 記載無し	21	44.7%	

こまえくぼ1234の利用に関するアンケート集計表（H29年度）

1 発送数		161		
2 回収数		49		
3 率		30.4%		
設問項目		件数	率(設問)	備考
設問 1-1	個人利用である場合には個人に、団体利用である場合には団体に○をしてください。団体の場合には団体名と主な活動日時について教えてください	47		解散(休止) 2 団体
① 個人		0		
② 団体		47		
曜日 と 時 間 帯	① 月曜日	12	25.5%	
	時間	午 前	12	25.5%
		午 後	6	12.8%
		夜 間	1	2.1%
		不 定 期	0	0.0%
	② 火曜日		8	17.0%
	時間	午 前	8	17.0%
		午 後	5	10.6%
		夜 間	0	0.0%
		不 定 期	0	0.0%
	③ 水曜日		11	23.4%
	時間	午 前	10	21.3%
		午 後	7	14.9%
		夜 間	0	0.0%
		不 定 期	0	0.0%
	④ 木曜日		12	25.5%
	時間	午 前	9	19.1%
		午 後	8	17.0%
		夜 間	2	4.3%
		不 定 期	0	0.0%
	⑤ 金曜日		5	10.6%
	時間	午 前	5	10.6%
		午 後	3	6.4%
		夜 間	0	0.0%
		不 定 期	0	0.0%
	⑥ 土曜日		10	21.3%
	時間	午 前	4	8.5%
		午 後	8	17.0%
		夜 間	1	2.1%
		不 定 期	1	2.1%
	⑦ 日曜日		6	12.8%
	時間	午 前	5	10.6%
		午 後	4	8.5%
		夜 間	1	2.1%
		不 定 期	0	0.0%
	⑧ 不定期		18	38.3%
	時間	午 前	2	4.3%
		午 後	0	0.0%
		夜 間	1	2.1%
		不 定 期	15	31.9%

設問項目		件数	率(設問)	備考
設問 1-2	市民活動支援センターでは登録制度をとっています。登録状況について教えてください。	47		
	① 登録をしている	33	70.2%	
	② 登録をしていない	6	12.8%	
	③ 登録をしているかどうか不明	8	17.0%	
	▲ 記載無し	0	0.0%	
設問 2-1	市民活動支援センターを利用したことがありますか。	47		
	① 平成29年4月1日以降から利用をはじめた→2-2へ	13	27.7%	
	② 平成29年4月1日以前から利用している→2-3へ	17	36.2%	
	③ 利用していない→5-1へ	17	36.2%	
	▲ 記載無し	0	0.0%	
設問 2-2	市民活動支援センターについてどのようにして知りましたか。 (複数回答)	13	27.7%	
	① 市広報	3	23.1%	
	② 知人からの紹介	5	38.5%	
	③ チラシやパンフレット	3	23.1%	
	④ 通りがかり	2	15.4%	
	⑤ 情報紙「えくぼ」	1	7.7%	
	⑥ 広報誌「こまえがお」	0	0.0%	
	⑦ こまえくぼ1234のホームページ	2	15.4%	
	⑧ 市役所	2	15.4%	
	⑨ 社会福祉協議会	1	7.7%	
	⑩ その他()	2	15.4%	
	・運営委員会の委員からの紹介	1		
	・こまえくぼの職員から紹介	1		
	▲ 記載無し	0	0.0%	
設問 2-3	どのような目的で利用しましたか。 (利用したことのある項目すべてに○)	30	63.8%	
	① 相談	12	40.0%	
	② フリースペースの利用	18	60.0%	
	③ イベント等への参加	11	36.7%	
	④ 他団体との交流	7	23.3%	
	⑤ 情報発信	11	36.7%	
	⑥ 情報収集	10	33.3%	
	⑦ その他(具体的に:	4	13.3%	
	・行事保険の申込	1		
	・備品の借用	1		
	・ボランティアの募集	1		
	・常設のフードドライブの受取	1		
	▲ 記載無し	0	0.0%	
設問 2-4	どのくらいの頻度で利用していますか。	30	63.8%	
	① 週2回以上	1	3.3%	
	② 週1回程度	0	0.0%	
	③ 月1～3回程度	4	13.3%	
	④ これまでに数回	21	70.0%	
	⑤ その他()	2	6.7%	
	・HP立上げ講習会	1		
	・必要な時だけ	1		
	▲ 記載無し	2	6.7%	

設問項目		件数	率(設問)	備考
設問 2-5	利用することでどのような変化がありましたか。(複数)	30	63.8%	
	① 活動がしやすくなった(具体的に:)	12	40.0%	
	・取次場所として協力していただいている。	1		
	・会員内の意識が高まった。	1		
	・活動場所として利用できている。	1		
	・場所が便利である。	2		
	・他団体との接点、参加者が増えた。	1		
	・PCやWifiが利用できる。	1		
	・活動場所として利用し易い。	2		
	・イベント等の紹介してもらえた。	1		
	・連絡場所として協力してもらえる。	0		
	・運営全般の指導が得られた。	1		
	・定期的な利用が出来た。(共催事業)	1		
	・予約無しで利用できる。	1		
	・無料で利用できる。	1		
	・市民と繋がる寄贈が可能になった。	1		
	・記載無し	1		
	② 活動に広がりが出た(具体的に:)	8	26.7%	
	・広報活動	1		
	・ボランティアの紹介が得られる。	1		
	・HPの活用	0		
	・情報や連絡がし易くなった。	1		
	・会議等で多人数で活動ができるようになった。	1		
	・老人施設での活動ができるようになった。	1		
	・記載無し	1		
	③ 情報発信が活発になった	4	13.3%	
	④ 情報収集がしやすくなった	9	30.0%	
	⑤ 他の団体と交流を持てた	9	30.0%	
	⑥ 特に変わらない	6	20.0%	
	⑦ その他()	1	3.3%	
	・フードドライブの活動拠点として先例となった。また、他団体の活動紹介も得られた。			
	▲ 記載無し	0	0.0%	
設問 2-6	職員の対応について満足度をお聞かせください。	30	63.8%	
◎ あいさつ・言葉づかい・応対時の印象(感じの良さなど)		30		
	① 満足	26	86.7%	
	② やや満足	2	6.7%	
	③ どちらでもない	0	0.0%	
	④ やや不満	0	0.0%	
	⑤ 不満	0	0.0%	
	▲ 記述無し	2	6.7%	
◎ 相談や要望に対する対応		30		
	① 満足	18	60.0%	
	② やや満足	5	16.7%	
	③ どちらでもない	0	0.0%	
	④ やや不満	2	6.7%	
	⑤ 不満	0	0.0%	
	▲ 記載無し	5	16.7%	

設問項目		件数	率(設問)	備考
設問 2-7	活動する中で現在課題と思うことはありますか。(複数回答可)	30	63.8%	
	① 活動メンバーが固定化している	13	43.3%	
	② 会員が高齢化している	11	36.7%	
	③ イベント等をして人も人が集まらない	6	20.0%	
	④ 活動する場所がない	1	3.3%	
	⑤ 活動を知ってもらう機会が少ない	5	16.7%	
	⑥ 同じ分野の活動団体と交流・情報交換の機会が少ない	7	23.3%	
	⑦ 異なる分野の活動団体と交流・情報交換の機会が少ない	7	23.3%	
	⑧ 必要な情報(補助金、講師の情報、講座の開催情報等)が手に入らない	0	0.0%	
	⑨ イベント等のやり方がわからない	0	0.0%	
	⑩ 特になし	7	23.3%	
	⑪ その他()	5	16.7%	
	・支援センターが社会資源をもっと活用する	1		
	・財政的に運営が厳しい	1		
	・相談に積極的な対応が見られない	1		
	・ボランティアのモチベーションの高め方、活動資金の確保等(NPOとしての課題)	1		
	・役員のなり手がいない	1		
	▲ 記載無し	0	0.0%	
設問 2-8	今後、充実してほしい事業や機能についてお聞かせください。(複数)	30	63.8%	
	① 相談機能	7	23.3%	
	② 団体の会員やボランティアの募集、紹介	12	40.0%	
	③ 協働のコーディネート(団体同士、団体と個人、団体と行政など)	13	43.3%	
	④ 交流や情報交換の場づくり	11	36.7%	
	⑤ 情報提供	5	16.7%	
	⑥ 講座や研修会の実施	6	20.0%	
	⑦ 特になし	1	3.3%	
	⑧ その他()	4	13.3%	
	・HPの団体検索機能は団体名とジャンル毎の一覧表があると便利(現状は検索しづらい)	1		
	・音出しのできるスペースがあると良い(楽器の音が出せる部屋が希望)	1		
	・NPOセンターとしての機能が不十分	1		
	・フリースペースの予約制を希望	1		
	▲ 記載無し	1	3.3%	
設問 3-1	市民活動支援センターのフリースペースを利用したことがありますか。	30	63.8%	
	① ある→3-2へ	22	73.4%	
	② ない→3-5へ	7	23.3%	
	▲ 記載無し	1	3.3%	
設問 3-2	利用の目的は何ですか。(複数)	23	48.9%	
	① 会議や打ち合わせ	20	87.0%	
	② 資料の閲覧	2	8.7%	
	③ パソコンの利用	2	8.7%	
	④ コピー機の利用	2	8.7%	
	⑤ 支援センターとの共催事業(イベントや展示など)	6	26.1%	
	⑥ その他()	2	8.7%	
	・折り紙クラブでの活動	1		
	・活動に伴う作業で利用	1		
	▲ 記載無し	1	4.3%	

設問項目		件数	率(設問)	備考
設問 3-3	3-2で選んだ項目について、今後も利用したいと思いますか。	23	48.9%	
理由	① 利用したいと思う	22	95.7%	
	② 利用したいと思わない	0	0.0%	
	③ どちらでもない	0	0.0%	
	・狛江市関連の事業体であること。	1		
	・便利で機材が揃っている。(ネット含む)	4		
	・立地条件が良い(駅から近く便利)	5		
	・落ち着いて会議が出来る(ファミレスの時は落ち着かなかった)	2		
	・予約無しで利用できる	3		
	・柔軟な利用が出来ること	1		
	・使用料金が無料であること	3		
	・スタッフの協力が得られる(職員の協力)	2		
	・情報が得やすい	1		
	・金銭の取扱等他ではできない作業が出来る	1		
	・共催事業で展示をしたい	1		
	・部屋の大きさが活動にマッチしている。	2		
	・他の利用者とバッティングして利用できないことが生じているが「えくぼ」との繋がりを持つために継続利用	1		
	・記載無し(理由)	6		
	▲ 記載無し	1	4.3%	
設問 3-4	3-2で選んだ項目について、改善してほしいことはありますか。ある場合には、具体的に教えてください。	23	48.9%	
理由	① 改善してほしいことはない	9	39.1%	
	② 改善してほしいことがある	12	52.2%	
	・フリースペースでの軽食等を可能にしてもらいたい (時間帯指定)	1		
	・フリースペースにPC用プリンターを設置してもらいたい	1		
	・休館日を公民館とずらしてもらいたい	2		
	・印刷機を設置してもらいたい	2		
	・日曜日の開館時間を早めてもらいたい	1		
	・団体支援としてコピー機を利用させてもらいたい	1		
	・他団体と個人との交流を進め、コーディネートしてもらいたい	1		
	・夜間の開館を希望	3		
	・フリースペースの予約制を希望	2		
	・備品の使用料を下げてもらいたい	1		
	・小スペースが欲しい(パーティションで仕切り)	1		
	・フリースペースでの飲み物は許可してもらいたい	1		
	▲ 記載無し	2	8.7%	
設問 3-5	開館時間は午前10時から午後5時までですが、使いやすさはいかがですか。(選んだ理由もご記入下さい。)	30	63.8%	
理由	① 満足	9	30.0%	
	② やや満足	3	10.0%	
	③ どちらでもない	7	23.3%	
	④ やや不満	8	26.7%	
	⑤ 不満	2	6.7%	
	・イベント(共催)等で利用しやすい	1		
	・ウィークデーの午後5時以降の利用希望	1		
	・ウィークデーの夕方の閉館時間の延長を希望(個人意見)	1		
	・夜間の開館をしてもらいたい(夜間会館:利用しやすい)	8		
	・開館を早めてもらいたい(9時又は9時30分等)	3		
	・情報交換の場が無い(遠い)	1		
	・開館時間をもう少し長くしてもらいたい	3		
	・活動時間が開館時間に合っている	2		
	・時間等柔軟な対応をしていただいている	1		
	・記載無し	9		
	▲ 記載無し	1	3.3%	

設問項目		件数	率(設問)	備考
設問 3-6	休館日は火曜日、祝日及び年末年始(12月29日から1月3日まで)ですが、使いやすさはいかがですか。	30	63.8%	
	① 満足	16	53.3%	
	② やや満足	3	10.0%	
	③ どちらでもない(理由無し)	6	20.0%	
	④ やや不満	3	10.0%	
	⑤ 不満	2	6.7%	
	理由	・公民館と同じ日に休館はこまる(他の施設含む)	4	
		・祝日を閉館してもらいたい	1	
		・日曜日に寄贈受付ができることがありがたい	1	
		・変則の休みは大変である	1	
		・記載無し	21	
		▲ 記載無し	0	0.0%
設問 4-1	市民活動支援センターの貸出備品の利用について教えてください。(利用したことのある備品すべてに○)	30	63.8%	
	① プロジェクター	7	23.3%	
	② ポータブルアンプ・マイク	6	20.0%	
	③ DVDプレイヤー	3	10.0%	
	④ スクリーン	2	6.7%	
	⑤ その他()	2	6.7%	
		・ホワイトボード(備付)	1	
		・TVモニター	1	
		▲ 記載無し	20	66.7%
設問 4-2	今後、団体活動において必要とされる備品等がありますか。ある場合は具体的に教えてください。	30	63.8%	
	① 必要とする備品はない	20	66.6%	
	② 必要とする備品がある	5	16.7%	
		・印刷機を設置してもらいたい	3	
		・プロジェクター	1	
		・スクリーン	1	
		・ファイル等を置きっぱなし(ロッカー)を希望	1	
		▲ 記載無し	5	16.7%
設問 5-1	利用したことがない理由があれば教えてください。(47)	47	100.0%	
	① 活動時間と開館時間が合わない	0	0.0%	
	② 活動日と休館日が重なっている	0	0.0%	
	③ 他の施設(公民館や地域センター等)を利用している	16	34.0%	
	④ その他(具体的に:)	6	12.8%	
		・英会話教室に行っているので、利用の必要がない	2	
		・主たる活動場所が他の施設(公民館、地域CC)であるため	1	
		・主たる活動場所が他の施設(学校や保育園等)であるため	1	
		・主たる活動場所が多摩川(活動場所が異なる)	1	
		・主たる活動場所が公園管理(VO保険は活用)	1	
		・自前の施設を持っている	1	
		・運動に適した場所でないため	1	
		・主たる活動場所が他の施設(あいとぴあ)であるため	1	
		▲ 記載無し	25	53.2%

設問項目		件数	率(設問)	備考
設問 5-2	支援センターの利用についてご意見等がありましたらお書き下さい (47)	47	100.0%	
	① 会議室等の部屋の提供を希望する(予約)	1		
	② 若い方の入会が無い	1		
	③ ツイッターがあると良い(情報発信)	1		
	④ イベント時女性トイレが足りない	1		
	⑤ 公民館利用者等へ積極的なPR	1		
	⑥ 無料のボランティア一覧表があると良い	1		
	⑦ 情報の窓口として活用している	1		
	⑧ 活動は中央公民館を中心行っている	1		
	⑨ ボランティアの一覧表があればいいと思います	1		
	⑩ 職員が親切で利用しやすい	1		
	⑪ ボランティア保険を活用しています	1		
	⑫ まだまだ市民活動支援センターを知らない人がいます	3		
	⑬ 「こまえがお」は皆に読まれている(素敵である)	3		
	⑭ 駅からの案内板等の設置してもらいたい	1		
	⑮ センター内(FS)で飲食をできるようにしてもらいたい	1		
	⑯ 市民や利用団体の目線で考えたセンター機能を希望する	1		
	⑰ センター自主性が無い(センター長の民間登用・運営委員会の権限を高める)	1		
	⑱ フリースペース(FS)が予約できると良いです	3		
	⑲ 感謝の言葉(お礼、激励等)	3		
	⑳ 団体登録を希望するがどうしたよいか分からない	1		
	㉑ 職員の対応が良い	1		
	㉒ 活動に協力依頼をお願いしたい	1		
	㉓ 登録方法や利用方法を具体的なPRが必要です	1		
	㉔ のぼり旗の色があせて目立たない	1		
	㉕ イベント等の情報が団体に入らない	1		
	▲ 記載無し	21	44.7%	